

岡山県版レッドデータブック（抜粋）及び指定理由

サクラソウ



絶滅種	野生絶滅種	絶滅危惧種	危急種	準危急種	情報不足	希少種	留意種
-----	-------	-------	-----	------	------	-----	-----

生育情報：高さ 15～40cm になる多年草。全体に多細胞の縮れ毛が多い。葉は根ぎわに集まってつき、長い柄がある。葉身は長卵形または卵状長だ円形、長さ 4～10cm、幅 3～6cm、ふちには不揃いな 2 重の歯牙があり、若い時は多くのしわがある。花は 4～5 月に咲き、花茎の先に 3～20 個の花を散形につける。がくは長さ 5～12mm で、5 中裂する。花冠は淡紅色で、径 2～3cm。果実は円錐状偏球形で径約 5mm。

分布状況：岡山県北部にあり、小さい流れ沿いの草地や湿気の多い里草地などに生育する。かつては岡山県中部、北部に点在していたが、現在でも生育が確認できる集団はごくわずかである。残されている集団では、今のところある程度の個体数が維持されているが、盗掘跡が目につく。北海道、本州、九州に分布し、山麓や川岸の湿気の多い野原に生える。

存続を脅かす要因：業者・マニア採取、草地開発（真庭市では別荘地開発のため絶滅した集団がある。）、管理放棄、自然遷移。

指定理由

現存する生育地は、辛うじて乱獲を免れたものであり、その生育地の数、個体数ともに極めて少ない状況となっている。厳重な保護対策を講じるとともに、生育環境の維持を図り、採取・乱獲等の防止策を講じる必要がある。